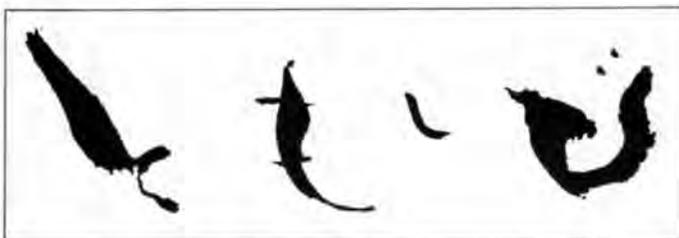


大学婦人協会東京支部

1991.2  
第9号



- ベルギー所感 その2 食生活
- 講演会「21世紀に向けて真の国際化とは」

### '90セミナー報告

一九九〇年は例年と異なり「開発教育」及び「女性と開発教育」というテーマで、九月二十九、三十日に亘ってセミナーとフォーラムが新宿京王プラザホテルで開催された。

第一日はJAUWの全国セミナーで、金谷敏郎氏の基調講演に続き九支部二委員会による研究発表が行われ、夜は懇親会がもたれた。第二日は文部省委嘱「婦人の社会参加支援特別推進事業」として国際協力事業団他四団体の協力参加を得て全国フォーラムという形をとり、広く一般の方にも参加を呼びかけ盛会だった。東京支部は第一日に「東京都の学校における開発教育の実態」という研究発表をした。研究スタッフは、教育委員会、文部省国際理解教育関連校、東京都国際理解教育推進校の中から小・中・高にわたって訪問し調査した。まとめとして国際理解教育は、何らかの形で随分熱心に取り組まれているとの発表がなされた。

来年の研究には一人でも多くの支部会員の参加をお願いします。(吉田)



### 〈実行委員になって〉

高井敬子

「セミナー実行委員」と云う厳しいタイトルがついて訳も分からずビックリしてらううちに、受付の係はアレヨアレヨと云う間にどんどん員数が埋まって行く。録音係が必要と云うことなので、機械に強そうな福田さんがその日は風邪で欠席していらしたのに私の独断で、「福田さんと録音係をやりマス!!」と名乗りあげてしまう。

さて当日録音の責任者の方を待つて本番。総てその方の指示通りに止めたり裏返したりするようにとの事で無事終了!!翌日は他の二人の方にバトンタッチして私はシンポジウムの時の場内のマイクロフォンの係、福田さんはタイムキーパーとして「あと二分」と云う時に壇上のパネラーの方にサインを出す係。

準備の期間から思うと随分時間をかけて漕ぎつけたセミナーであったが30日の颪風のおまけ迄ついて終わってしまうと、あつと云う間の出来事だったように思える。皆様方の御苦勞が総て恙なくセミナーが終わった事を少しの反省も織りませて心から嬉しく思っている次第である。

### '90セミナーに参加して

北村和子

入会半年足らずの何もわからぬ身で参加したセミナーの内容は、視野の狭い私には、圧倒されることばかりでした。初日、先輩について持場に着き、バザーのお手伝いをしているうちによいよセミナー開始になりました。先ず、テーマの開発教育についてまだ耳新しいこの言葉の基調から伺い、その現状に於いては浸透しにくいとお話しました。ゴージャ氏はインドの国情からその必要性と根強い風習、地域の対立の中で女性に昂揚を促し努力されていることを話され、又シンポジウムから現場の教師の白井氏は、自分達の足許からと強調され、そして熱の籠った調査研究報告が二日間に亘り展開されました。それぞれ調査内容はいろいろでしたが、共に内容のある報告でした。その中、東京支部は調査に伺った学校の先生よりお褒めの言葉を戴きました。懇親会でテーブルを御一緒に他支部の方々と語り、バザーのお手伝い等充実した二日間でした。諸先輩の御指導、助言で貴重な経験をさせていただき感謝しています。

## 他支部活動紹介

## 広島支部

## 「通常総会への御案内」

第三十四回通常総会は、青山君子一日と二日、広島で開かれます。広島での全国総会は、十九年振りの開催となります。

広島は、三年後の一九九四年に、首都以外の都市では初めての開催となるアジア大会の準備もあつて、街の中は工事も多く、少々落着きを欠いています。総会会場、宿舎共に平和公園近く、歩いて二、三分のところを予定しています。朝夕の静かなひとときを散策されるのもよろしいかと思ひます。

観光は、江田島、旧海軍兵学校跡につくられた自衛隊第一実科学校内の教育参考館を訪ねたいと思ひついで。若くして散つていった神風特攻隊員の遺品や、遺言は、訪ねた人々の心に強く訴えるものがあります。平和公園にあります原爆資料館とともに、一度訪ねていただきたい所の一つです。

日本三景の一つ、宮島の厳島神社にも廻ります。御来広をお待ちしています。

## 秋田支部

## 「灯をにかけて四十余年」

金野和子

秋田支部は昭和二十二年、会員二十余名で全国で九番目、東北で三番目に誕生しました。三十年代は東南アジアの秋田大学への留学生の世話を、後半から四十年代は、市の婦人団体連絡協議会の一員として「愛の催し」で各施設への援助をして参りました。五十年代は京都での国際大

学婦人連盟国際会議や大平洋セミナーへの協力、参加。又、六十年には本部セミナーへ「秋田の婦人をめぐるこの十年」を発表。三年前からはバングラディッシュとの交流を始めました。現在会員七十名。年間の事業として総会の他、「旭川に清流を」のクリンアップ運動への参加。年次テーマの研修会、特別養護老人ホームへの奉仕、女子孤児の高校入学祝金授与、CCWAの継続、バングラディッシュとの交流。県の婦人生活祭での展示とバングラディッシュ民芸品のバザー等をやっています。長年、先輩がかかげ続けてきた灯をなお一層明るく長くかかげ続けることが私共の使命と思ひついで。

## 講演会

## 二十一世紀に向けて真の国際化とは

小中陽太郎氏

十一月二十八日・国立教育会館NHK勤務を出発点に、ベ平連の

反戦活動、人権に関わる幾多の裁判の支援ルポ、ノンフィクション小説執筆、各種の講演にTV出演と、小中氏の活動の幅は広い。氏がレギュラーであるTVワイド番組クイズ番組でも国際化は著しく、多様な国の情報、事件が、茶の間への話題として、日常的に採り上げられており、国境をこえた電波は意図せず激動の時代を演出し、世界が共通の理念で動く誘因となったと述べられた。

東西の壁が取り払われた今、東の自由は、西の自由と同じとゴルバチョフは説く。しかし、日本だけは遠うと小中氏は、ジェームス・フアロの衝撃的な「日本封じ込め」論を紹介する。即ち世界共通の普遍的原理は日本に通用しない。日本の民族性と対立する。日本の高慣習談合は、自由経済の市場で許されるのか、閉鎖的統制機能を持つのではないか。経済大国日本の私企業は、単独で、自発的に慈善行為、博愛活動ができないのか。アメリカの私企業は、中

国の障害者対策が遅れている事実を知ると、義手義足工場を現地に設立、寄贈している。日本人は、行政的に制度化されぬ限り、国家や民族を考えた理念で行動を展開することがないとの指摘である。

民族的特異性を認めつつ、氏は、日本が世界共通の土俵に立つ拠点として、平和憲法をあげる。その根幹は、人は生まれながらに自由、という人権思想である。ギリシャ哲学、キリスト教精神に相通する普遍的な人権意識と併せて、固有文化を尊重することも提言された。氏が監修されたマンガ源氏物語英語版を例に、日本の諸々の事物を洋書の制約の中で正確にイラスト化する繁雑さ、背後に凝縮された文化を持つ言葉を英訳する困難さを述べられた。

氏は個々の民族がその風土と歴史の中で育んだ文化を大切に守ることは、異文化の存在を認識し尊重することであるとされた。そして、お互いが、民族の個性を縦軸に、普遍的な人権意識を横軸に、国際的調和をつくり出すことが真の国際化への眼目であると結ばれた。私共は、豊かな感性と知性をもって、二十一世紀への交点に立つよう努めたいと思ふ。

福田練子



### 支部会員の皆様 私の呼びかけに 耳をお貸し下さい

東京支部長 金子京子

既にご存じの通り、来る一九九二年総会は、東京と決まりました。

ただ今、交通便利、格安で、サービスも良好、という会場選別に奔走中ですが、1年後の物価上昇を考慮すると、費用の捻出に、今から頭の痛い思いで、大きな悩みになっております。

そこで皆様にお願ひがあります。

・皆様のご好意による、寄付金を  
いただきたいこと

・ミニバザーのためのご協力

・その他運営に適切なご助言、情報（例えばおみやげ品についてのご提案等）を聞かせていただくこと

以上の事柄です。

総会の成功を、ひたすら祈っております。

(ご送付の際は)

大学婦人協会内

東京支部宛

とご明記下さい

次に、この会の年会費の使途に疑問（他団体より高額なのに、見返りが少ない）をお持ちの方がいらつしやいますので、簡単に説明させていただきます。

お納めいただく年会費六千円は、本部に四千円、支部には二千円と配分され、支部維持費として使われております。

詳細は、会報「ともしび」年2回発行。「おしらせ」を必要に応じて発行、皆様に時々の情報をお届けしています。その他、時勢に即した内容の講座、講演会を折々開催。又、食事や楽しい語らいを織り込んでの日帰り研修旅行等を行い、これ等の催しには、参加者のご好意により、幾らかの参加費を頂く事もあります。

円滑な運営の助けとなっております。これからは集会の都度、ミニバザーを開いたりし、委員は絶えず会の発展に努力します。なお、これ等行事の計画準備実行の費用等、総て委員のボランティアです。

会の発展の為、より多くの方々のご入会を希望しております。どうぞお勧誘にお力添下さいませ様、お願い致します。

### 新講座案内

#### 浮世絵版画

三回シリーズ

一九九〇年度末を飾る行事として浮世絵版画の講座を計画している。

講師には浮世絵研究の第一人者の鈴木重三先生にお願ひすることができ、皆さまに喜んでいただけるものになることが期待される。



鈴木重三先生は、昭和一六年 東大国文学科卒業 元国立国会図書館司書監 平成元年 白百合女子大教授退官、浮世絵（後期）と文学との交流の研究家で、広く浮世絵版画の研究では日本でも最高の方でいらつしやる。御著書には次のものがある。

- ・日本版便覧
- ・「広重」（日本経済新聞社）
- ・原色浮世絵大百科事典 編集
- ・「絵本と浮世絵」（美術出版社）
- ・近世子どもの絵本集 共著

— 毎日出版文化賞受賞（岩波）

第一回目、二月十九日（火）、二回目、三月十二日（火）、午後二時より

飯田橋にある東京都婦人情報センターにて、スライド等豊富な資料をご用意下さったのお話を伺う。

三回目は三月二十六日、足立版画研究所のご好意で同所を訪問、製作の現場見学を通して勉強する。

皆様のご参加をお待ちしています。

### 国内奨学金贈呈式

一月十九日 国立教育会館

金子支部長の開会の挨拶に続き、  
鍛島国内奨学委員長より一般奨学生（学部七名、大学院八名）及び安井医学奨学生、ホームズ奨学生（各一名）の選考経過報告と同奨学金贈呈。又、野崎社会福祉委員長によって社会福祉奨学生（二名）の選考経過報告の後、同奨学金の贈呈が行われた。

次に中村会長の祝詞の後、受賞者が各々の研究、抱負等を述べて挨拶、中でも身体に障害を持つ社会福祉奨学生の努力に感動、ささやかな奨学金ながらその持つ意義の大きさにもつと多数の出席が得られたらと思う。

小憩後、野本照子氏（東京女子医大教授）の記念講演「生体内のホルモンの役割」に生命の不思議を思い、平野副部長の閉会の辞で終了。

## ベルギー所感

その2 食生活

山本明子

前回に引き続き、少しベルギーの食物について書いてみたいと思う。我々はヨーロッパの料理を西洋料理という形で十把一からげにしがちだが、やはりそれぞれの国にそれぞれの料理があり、一つの国の中でも、それぞれの地方の料理というのがあって、少しずつ違っているのがおもしろい。

それではベルギーの料理はどうかというと、これはベルギーの文化全体にわたっても同様のことが言えると思うが、言葉が同じだけあって、フランス料理に近い。ヨーロッパは沢山の国によって構成されているが、そのどれもが料理がおいしいというわけではなさそうだが、ベルギーはやはり料理がおいしい国の一つだと思ふ。ただ何と云ってもブラッセルで北緯五十度だからかなり北であり、従って料理も北の地方の特色があり、ややゲルマン的である。

これはあまり知られていない事だが、統計ではじやがいももビールも一人当りの消費量はドイツを抜いてベルギーの方が多く、チョココレート

もスイスを抜いてベルギーである。

ドイツではそれぞれの地方でワインが出来るのに比べ、ベルギーではワインは出来ない。そのためその分だけビールを飲むのかどうかはわからないが、とにかく二百種類以上のビールがある。色も日本のようなビールから殆ど黒に近いもの、アルコール度の非常に強いもの、少し糖分を含んでいるもの、さくらんぼから作ったもの等がある。料理も肉をビールで煮るといったように、ビールを使ったものが多い。

じやがいもは西洋の国ではどこでも色々な形でよく食べる。だからこれらの国では日本のように一キロ二キロといった上品な買い方はせず、十キロとか二十キロとかいった単位で大きな袋で買う。それを色々に料理するが、魚には粉ふきいも、肉にはいわゆるフリットという拍子木に切った唐揚げをつける。このフリットというのを道端で三角の形をした紙の中に入れて売っているが、これもフランスではオイルで揚げるのと同じ、ベルギーはラードで揚げる。

この方がやわらかく仕上がる。首都ブラッセルの中心の市役所のある広場、グランプラスの近くのいわゆる食物横丁と名付けられた狭い

レストランが軒を連ねた通りで、ムール貝のワイン蒸しとフリットを取り、それでビールでも飲めばまさにベルギー的気分になる。帰りにその近くのトゥーンという小さい芝居小屋で人形劇でも見れば一層その気分が増す。



ブラッセルのカフェテラス

このじやがいもはドイツから東欧の方ではクルーゼといってじやがいもをすり下ろし、やたらと複雑な過程をへて団子にしたのを食べるが、私のえこひいきかも知れないが、そんな手間暇をかけたものよりこのフリットの方がずっとおいしいような気がする。

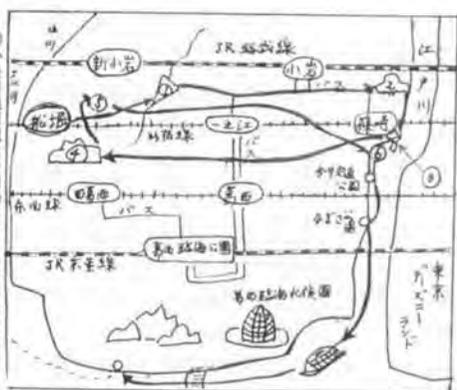
チョココレートは本来甘いチョココレートの中に更に甘い詰め物がしてあるというものであるが、これも好きずきであるが、私にしてみればやはり北方的であるという気がする。

ブラッセルという所は東京よりずっと狭い都市であるからこそこの様な事が出来るのかも知れないが、私がブラッセルに旅行で行ったような場合、滞在日数が限られているので、昼も夜もふさがっているという様な事がよくある。そんな時、それでは食前酒に出来ないかと誘われる。この食前酒「アペリティーフ」というのは大体六時半から夕食の始まる八時頃までで、よく夫人が仕事を持っていて人を夕食に呼ぶ暇がないような時もこのような呼ばれ方をする。この場合、ウイスキーとかポルトとかトマトジュースのようなもの、他にチーズスティックやオリーフのようになつまみものが出るだけで後はおしやべりである。こんな簡単な方法で人に会えるというのがベルギーのよさだ。東京ではまさか一時間もかけて家に来る友人をウイスキー一杯で帰すわけにはいかない。それとベルギー人のそうまでしてお互いに会おうとする人好きの良さには感激する

(次頁下段へつづく)

# ウォーターフロント 江戸川区めぐり

柴崎富子



①小松川(荒川)水公園の展望(影向の松)②江戸川水辺公園(荒川)③お茶屋(お茶屋)④お茶屋(お茶屋)⑤お茶屋(お茶屋)

月並みな言いながら「心がけの良い」メンバーが揃ったためか、抜ける様な青空となった。賑やかな声を乗せてバスは先ず親水公園へ。  
 ♪ 水しづかなる江戸川の、流れの岸に生れ出て、岸のはとりの花影に、われは乙女となりにけり。の藤村の詩を思い出した。花の頃はさぞやと思われる。影向の松で有名な善養寺では、「ほけないように」と勝手なお願いをしてお賓頭盧様の頭をなでさ

せていただいた。東京で唯一一つの江戸風鈴工場では、中村会長他有志の方々が、まさに世界で一つしかない自分の手造り風鈴造りに挑戦、全員の手拍子とフラッシュを浴びる。自然動物園で誰から人間に育てられたベシギンが人を信じきって背をさすらせてくれる。濡れた絹の様な手さわりの葛西の臨海水族館は水上バスで三十分。厚さ二十六種のガラスの水槽を群泳するマグロ。自然の彩色に息をのみ美しい南の海の魚達。時の経つのも忘れる一日であった。親切にご案内下さった江戸川区の職員の方々に心より感謝の言葉を捧げたい。

## 図書紹介

「イナグヤ ナナバチ」

堀場清子著 (ドメス出版)

「津田梅子」

大庭みな子著 (朝日新聞社)

東京支都では、'90セミナー「女性と開発教育」に参加するため、春から勉強会、調査活動を重ね、理解を深めて来た。セミナー当日、遠くインドから来日頂いたチトラ・ゴシユ女史のお話は、女性と開発教育の関わりを具体的に呈示して下さいました。

「インドの女性の現況は百年前の日本のそれです……」と。

○「イナグヤ ナナバチ」は、沖縄の言い伝えで、女は七つの罰をかぶって生まれると言う。本土とは異なる風景に、山裾に白く立派な亀甲墓を見る。沖縄の地理上の位置から、華南地方の影響と、大和からの古い因習をも色濃く残す。その一つとして、戦後まで続く洗骨の風習を廃止し、火葬場建設運動を展開した女性達を訪ね、聞き書を元に纏められた。

外に琉装・琉髪を廃止、トートーメー(財産権を伴う位牌)の男系継承の廃止等をめぐる沖縄の近代女性史である。東京女子大の女性史青山なを賞の、今年度受賞作である。因習の実態と、因習が現存する社会の人々の苦悩を知る事が出来る。

○「津田梅子」は、不思議な運命で、幼くして渡米し、米國の教育を受けた梅子が、やがて十八歳を迎える一八八二年、帰朝する船室で書いた手紙に始まる。十一年間米國で彼女を養育したランマン夫人アデリン宛。ふと発見された三十年に亘る書簡の数々をもとに、百年前の日本女性の姿、日本の女子教育に尽くすため後の津田塾大学を設立した梅子を生涯に亘って物心両面で助けた多くの

が、一人一人が優れたエンターテナーであって結婚何周年記念とかいろいろの口実を設けてお互いに食事をし楽しもうという事になる。その人生の楽しみ方には日本人にはないものを感じる。



人々の存在を描く。問題解決の為に、異性と自由に意見を交わし、未来を展開する視点を、男性とは違う女性立場から発言出来る女性を育てたいという夢。かつて豊かな米國の人から受けたものを、百年後の豊かな日本の人々が連なり巡って、アジアやアフリカの梅子の為にして欲しいとの願いも込められている。

これらの書物が翻訳され、途上國の女性に読まれると、彼女達に新しい勇氣と希望を与えるのではないであろうか。開発途上國の人々の置かれている状況への理解と共感と励ましがあってこそ、日本の経済援助も、それにふさわしい評価を受けるのではないかと思われる。当協会の会員の方々はすでに一読されているであろうが、特に若い世代にお奨めしたく御紹介した次第である。

東京支部新入会員

(1990年11月現在)

氏名	出身校	住所	氏名	出身校	住所
加藤 敬子	慶應		田中 精子	津女	
藤木 百合	日女		早船 アイ子	津津	
瀬木 京弥	実実津		福島 規代子	日東	女京南
金口 弥美	大東	女女心女女	村松 幹恵子	津女	医学
橋田 津幸	大東	女女心女女	渡邊 本村	津女	学
石織 田由	奈	女	橋木 晴照子	奈東	大
高井 敬和	奈	女	野川 上賀英子	奈東	大
森和 史江	奈	女	池上 泉尾良子	奈東	大
北村 礼明	奈	女	小奥 田上悦子	奈東	大
百磯 永吉	日大	女阪	廣井 関麻生	津	
吉森 本中	津津				
田中 村恵	津津				
村科 達子	奈青	女学心女			
川本 玲子	奈青	女学心女			
井上 久仁	奈青	女学心女			

〔物故会員〕

小野 寺あや子 東女 88年9月15日  
 大岩 永喜久子 津津 90年4月23日  
 野見山不二 日女 90年7月28日  
 謹んで御冥福をお祈り申し上げます。 90年11月26日

サークル紹介

俳句会 毎月第一月曜日  
 十二時半〜四時 於 事務所

「馬酔木」同人、村上光子氏指導。

読書会 毎月第二火曜日  
 一時半〜三時半 於 事務所

「世界史をよむ」の一環として今、  
 旧約聖書を。次はギリシャ神話  
 —インド神話等の予定。

英語会 毎週金曜日  
 十時〜十二時

於 東京都婦人情報センター  
 「アメリカ史をたどる」講師は石  
 塚英子氏。十回で一万二千元。

古典を読む会—平家物語—  
 毎月第二、第四月曜日  
 一時半〜三時 於 事務所

講師は山川正子氏。十回五千元。  
 …サークルについてのお問い合わせ、  
 ご希望は左記へどうぞ。

俳句会 3483-2091 (佐藤)  
 読書会 0426-23-8544 (遠藤)  
 英語、古典 3684-8307 (峯川)

新春のつどい

1/26(土)高輪京急ホテルに於いて  
 盛大に行われました。

◎寄付 例年の如く、左記の所に、  
 ささやかながら歳末の寄付をいた  
 しました。

◎愛隣会

◎留学生相談室

◎委員交代 山本明子さんが都合で  
 辞任され、後任に人見美枝子さん  
 がなられました。



編集後記

昨年の猛暑のさなか、イラクのク  
 エート侵攻による人質のニュースに  
 冷水をあびた思いで成り行きを見守  
 りました。暮に全員解放、帰国とま  
 ずは一安心で新しい年を迎えました。  
 「平和」の難しさを改めて感じます。

昨年の秋の全国セミナー・フォーラム  
 のテーマ「開発教育」は、世界の平  
 和に向けて時を得たものでした。

経験豊かな先輩の足手まといにな  
 りながら、もりだくさんの内容で「と  
 もしび」九号をお届けできる喜びを  
 味わいました。

次号も取捨選択に困るほどのご投  
 稿をお待ちしております。(石津)